

《担当者名》各講座講義担当者全員

【概要】

薬学分野の専門英語の修得を目標とし、少人数で医学・薬学に関連する英文資料の内容を理解し、問題点の抽出、解決のための調査を通して関連事項の理解を深める。

医学・薬学分野の基礎的な英文を理解し、要約できる能力を醸成するため、医療関連分野の英文を読み、内容の理解、内容の問題点などを討論し、問題解決のための方策について学習する。これらの学習によって、医療現場で必要な医療情報を的確に収集し、内容を理解し、説明できる基礎的能力を身につけることを目的とする。

【学修目標】

医学・薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。

薬学関連分野でよく用いられる英単語や基本構文の意味を正確に理解する。

英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。

専門分野または興味のある分野の英文研究内容を要約し、説明できる。

【学修内容】

| 回  | テーマ   | 授業内容および学修課題                          | 担当者          |
|----|-------|--------------------------------------|--------------|
| 1  | シナリオ1 | シナリオ1関連学習内容の概略説明、内容理解のための討論<br>【PBL】 | 講座担当<br>教員全員 |
| 2  | シナリオ1 | 第1回目討論の結果のまとめと問題点の抽出<br>【PBL】        | 講座担当<br>教員全員 |
| 3  | シナリオ1 | 問題点解決のための討論<br>【PBL】                 | 講座担当<br>教員全員 |
| 4  | シナリオ1 | シナリオ1に関するまとめ<br>【PBL】                | 講座担当<br>教員全員 |
| 5  | シナリオ1 | シナリオ1に関するまとめの発表<br>【PBL】             | 講座担当<br>教員全員 |
| 6  | シナリオ2 | シナリオ2関連学習内容の概略説明、内容理解のための討論<br>【PBL】 | 講座担当<br>教員全員 |
| 7  | シナリオ2 | 第6回目討論の結果のまとめと問題点の抽出<br>【PBL】        | 講座担当<br>教員全員 |
| 8  | シナリオ2 | 問題点解決のための討論<br>【PBL】                 | 講座担当<br>教員全員 |
| 9  | シナリオ2 | シナリオ2に関するまとめ<br>【PBL】                | 講座担当<br>教員全員 |
| 10 | シナリオ2 | シナリオ2に関するまとめと発表<br>【PBL】             | 講座担当<br>教員全員 |
| 11 | シナリオ3 | シナリオ3関連学習内容の概略説明、内容理解のための討論<br>【PBL】 | 講座担当<br>教員全員 |
| 12 | シナリオ3 | 第11回目討論の結果のまとめと問題点の抽出<br>【PBL】       | 講座担当<br>教員全員 |
| 13 | シナリオ3 | 問題点解決のための討論<br>【PBL】                 | 講座担当<br>教員全員 |
| 14 | シナリオ3 | シナリオ3に関するまとめ<br>【PBL】                | 講座担当<br>教員全員 |
| 15 | シナリオ3 | シナリオ3に関するまとめの発表<br>【PBL】             | 講座担当<br>教員全員 |

| 回 | テーマ   | 授業内容および学修課題   | 担当者                  |
|---|---|---|----------------------|
|   | 【各講座の課題】                                    |   |                      |
|   | 学術論文の読解力を養う                                 | 学術論文の検索の方法、構成等を具体的に理解する。課題の論文(Targeting cytochrome P450 enzyme: A new approach in anti-cancer drug development, Bioorganic & Medicinal Chemistry, 15, 5047-5060 (2007))を各自に指名して、訳してもらい、出来るだけ辞書を利用せず、論文の概要を理解する力を養う。 | 創薬化学講座<br>(薬化学)      |
|   | Natural Products<br>(Secondary Metabolites) | 三千年以上の使用の歴史を持つAlkaloidの基本的な生成とAlkaloidの医薬品としての重要性に関する英文を輪読し、内容を説明することができる。  | 創薬化学講座<br>(医薬化学)     |
|   | 生薬学、天然物化学、薬用植物学に関する学術英語                     | 生薬学、天然物化学、薬用植物学に関する学術論文を読み、その内容を理解、要約し、説明できる。文献調査後にプレゼンテーションを行うことができる。  | 創薬化学講座<br>(生薬学)      |
|   | 生物系英語論文の抄読                                  | 生物系医学・薬学、特に生化学や薬理学に関する学術論文を読み、英語の読解力を養うと共に内容を要約して簡潔に発表することができる。また、研究の進め方、結果のまとめ方などの基本的事項について理解し、説明できる。  | 分子生命科学講座<br>(生化学)    |
|   | 感染免疫に関する基礎英語                                | IMMUNOLOGY, Sixth Edition (Roitt et al. ed., Mosby)の第1章および第14章を輪読する。免疫学ならびにウイルス学に関する基礎的英語を修得できる。  | 分子生命科学講座<br>(免疫微生物学) |
|   | 英語で書かれた科学ニュースや文献を読む                         | 薬学に関する学術文献を実際に読みながら読解力を身につけ、専門書や文献を正確に読むことができるようになる。  | 生命物理科学講座<br>(薬品物理化学) |
|   | 放射薬品化学関連分野の基礎英語                             | 放射薬品化学およびその関連分野(放射化学、診断や治療に関わる生化学および薬理学)の英文教科書および学術論文について、その内容を要約し、理解することができる。  | 生命物理科学講座<br>(放射薬品化学) |
|   | 生体成分の体内動態に関する学術論文の抄読                        | 学術論文の和訳とその内容を英文で要約することができ、解読に必要な関連文献を収集し、まとめることができる。また、学術論文のプレゼンテーションを行うことができる。   | 生命物理科学講座<br>(薬品分析化学) |
|   | 食品中の機能性成分、食品衛生、薬物代謝に関する英語                   | 食品中の機能性成分、食品衛生、薬物代謝に関する英文を読み、内容を理解し、概略を説明できる。英文の内容から、調査課題を討論により集約し、調査後まとめを発表する。   | 衛生薬学講座<br>(衛生化学)     |
|   | Oncology Pharmacyを学ぼう                       | がんの原因や予防に関わる要因を探る研究を英語で理解し、ゲノム・遺伝子情報に基づくがん予防の可能性について説明できる。米国国立がん研究所が発信するがん情報サイトを利用して、がんの最新治療情報やがん用いられる標準治療薬・支持療法薬について討論し、調査後、まとめを発表する。  | 衛生薬学講座<br>(環境衛生学)    |
|   | 免疫疾患や循環器疾患の病態解析に関する研究に必要な専門英語               | 免疫関連疾患と循環器疾患の治療や病態解析に関する研究に必要な専門英語の修得を目標とする。薬学・薬物治療などの専門分野の英語学術論文や書籍・関連情報を読み、必要な一般的基礎知識を修得すると共に、その内容を要約し説明することができる。   | 薬理学講座<br>(病態生理学)     |
|   | 薬の作用機序に関する研究について理解を深める                      | 薬の作用機序を探求する基礎研究の学術論文を自分で検索し、読解し、概説できる。方法や結果の図表を理解して、説明できる。  | 薬理学講座<br>(臨床薬理毒理学)   |
|   | Pharmacologyを学ぼう                            | 薬理学分野の専門英文の読解力を養いながら薬理学的知識をさらに深め、英文の内容を説明できるようになることを目標とする。講義は薬理学の英文教科書や関連学術論文を教材として用い、専門用語や薬物の解説を交えて進める。  | 薬理学講座<br>(薬理学)       |

| 回 | テーマ                  | 授業内容および学修課題  | 担当者                  |
|---|----------------------|--|----------------------|
|   | 薬の体内挙動に関する最近の話題を知る   | 医薬品の体内挙動を制御する生体内要因に関する最近の論文を読み内容を概説できる。<br>論文に示された結果の問題点について説明できる。   | 薬剤学講座<br>(薬剤学)       |
|   | 英文で書かれた臨床薬剤学関連の情報を得る | 欧米の医薬品情報や、医療薬学に関連する専門雑誌から幾つかの学術論文を読み、内容を概説できる。<br>論文中の図表の意味を理解し、説明できる。   | 薬剤学講座<br>(臨床薬剤学)     |
|   | 薬学関連英語を読む            | 薬学関連用語を知ること、薬学関連の短文を理解し、説明できる。<br>病気関連の英語と略語を理解し、説明できる。  | 薬剤学講座<br>(製剤学)       |
|   | 最新の医療に関連する情報を読む      | The Lancet, JAMA (Journal of the American Medical Association), New England Journal of Medicine, BMJ (British Medical Journal), Nature Medicineなどの論文で紹介された最新の医療に関連する情報を理解し、概略を説明できる。 | 実務薬学講座<br>(実務薬学教育研究) |
|   | 病態、薬物治療に関連する英語を読む    | 医療薬学に関する学術論文や話題となったニュースなどの文献を読む。<br>新薬の作用機序、薬の副作用報告などの最新の情報を読み、その内容を説明できる。   | 実務薬学講座<br>(病院薬学)     |

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

PBLにおける態度、英文の理解度、まとめの発表内容を総合的に評価する。(100%)

#### 【教科書】

各研究室で配布する英文（論文誌、総説等）

#### 【参考書】

辞書

#### 【学修の準備】

英文の学術論文を理解するために、該当する分野の基礎知識を事前に復習し理解しておく。(80分)

#### 【薬学準備教育ガイドライン】

(3)薬学の基礎としての英語

#### 【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。